ア. 金属片の差し込み側が人工的に加工されているように見えるもの

│金属片番号 │202 │ 事務所名 │旭川 │ 路線番号 │	R39
---------------------------------	-----

## ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ - ル □ ○ ガ - ド パ イ プ □ ○ ガ - ド ケ - ブ ル
	О
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	■●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○ □○逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○□○逆目
接触痕跡	<b>■●</b> あり □○ □○なし

## ②写真

材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.053	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
_	/I) = 0.01 = 10.10 t = 1.5 t
	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

車両由来と類似した特徴である	

●国総研による再確認結果

## 4)一次判定

9 7(1)/2		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号 203 事務	務所名 室蘭	路線番号 R235
--------------	--------	-----------

## ①付着状況

防護柵	□○ガードレール
の種類	ロロカ゛ート゛パイプ
	■●ガードケーブル
	ПО
防護柵	■●路側側
の位置	口〇中央帯側
	ПО
付着場所	口〇ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	口〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	■●その他
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	□○順目  ■●不明
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○不明
	□○なし
<u> </u>	

## ②写真

U		
材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
形状	□○三角	■○長方形
	□●その他	(複雑)
厚さ(mm)	1.134	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
_	(1) 7 O M. THE L. 2 HILL 12 1
	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 7(1)/2		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片	番号 206	事務所名	青森	路線番号	R4

## ①付着状況

<u></u>			
防護柵	■●ガードレール		
の種類	□ ○ガ ードパイプ		
	□○ガードケーブル		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部	■●順目  □○		
	□○逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		
·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

## ②写真

O		
材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.75	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告			
(ア)金属片の差し込み側が人工的に			
加工されているように見える			
(イ)破断面が人工的に作られたよう			
に滑らか			
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と			
一致しない			
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目			
に付着している			
(オ)その他、現場から特にコメント			
がある			

# ●国総研による再確認結果 車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 7(1)/2		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号 216	事務所名	三陸	路線番号	R45
-----------	------	----	------	-----

## ①付着状況

<u></u>			
防護柵	■●ガードレール		
の種類	□ ○ガ ードパイプ		
	□○ガードケーブル		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部	■●順目  □○		
	□○逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		
·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

## ②写真

<u> </u>		
材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
	□○不明	
形状	■○三角	□○長方形
	□●複雑	
厚さ(mm)	1.35	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告		
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
	加工されているように見える		
	(イ)破断面が人工的に作られたよう		
	に滑らか		
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
	一致しない		
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
	に付着している		
	(オ)その他、現場から特にコメント		
Ш	(が)てい他、現場から特にコメント がある		
	n, <b>a</b> 0 @		

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

y NHZ		
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)	
	理由:接触痕及び金属片の厚さから車両と推測	

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

全届片番号	999	<b>車</b>	秋田	敗綽釆早	DAC
亚偶几倍与	252	事物別石		<b>哈冰田</b>	R46

## ①付着状況

21374 17470			
防護柵	■○ガードレール		
の種類	□○ガードパイ	フ <sup>°</sup>	
	□○ガードケーブル		
	□●不明		
防護柵	■○路側側		
の位置	□○中央帯側		
	□●不明		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端	部ボルト部	
	□○終点側端部ボルト部		
	口〇継ぎ目部		
	□○始点側端	部継ぎ目部	
	□○終点側端部継ぎ目部		
	■●不明		
付着向き	□○順方向	□●不明	
	■○逆方向		
継ぎ目部	■○順目	□●不明	
	□○逆目		
接触痕跡	■○あり	□●不明	
	□○なし		

## ②写真

U		
材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
	□○不明	
形状	□○三角	□○長方形
	■●台形	
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告		
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
	加工されているように見える		
	(イ)破断面が人工的に作られたよう		
	に滑らか		
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
	一致しない		
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
	に付着している		
$\vdash$	(オ)その他、現場から特にコメント		
╽╙			
	がある		

## ●国総研による再確認結果

人工的に加工したように見える

人工的に作ったように見える

## 4)一次判定

<u>サーバコル</u>	
車両に由来するものと考えられるか	OYES ●不確定(材料分析必要)
	理由:破断面が滑らか,形状に曲がったところが無く,
	まっすぐ。

車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
材料分析結果	車両用 (トラクター)、接触・落下

金属片番号	239	事務所名	青森	路線番号	R4

## ①付着状況

防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
	□○不明		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■●継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
	ПО		
付着向き	□○順方向 □○		
	■●逆方向		
継ぎ目部	■●順目  □○		
	□○逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		

## ②写真

材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.85	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告					
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に					
	加工されているように見える					
	(イ)破断面が人工的に作られたよう					
	に滑らか					
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と					
	一致しない					
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目					
	に付着している					
	(+)その他 理想から特につくいし					
╽╙	(オ)その他、現場から特にコメント					
	がある					

●国総研による再確認結果				
車両由来と類似した特徴である				

## 4)一次判定

_	9 71170		
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)	
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測	則

$\sim$				
	車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	

					T Comments of the comments of
金属片番号	243	事務所名	常陸	路線番号	R6

## ①付着状況

防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
防護柵	□○路側側		
の位置	■○中央帯側		
	□●不明		
付着場所	■●ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	口〇継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
	ПО		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部	■○順目 □●不明		
	□○逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		

## ②写真

材質	■●鉄 □○不明	□ ○ プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告				
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に				
	加工されているように見える				
	(イ)破断面が人工的に作られたよう				
	に滑らか				
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と				
	一致しない				
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目				
	に付着している				
<u> </u>	/I) = = 61 = = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 =				
	(オ)その他、現場から特にコメント				
	がある				

●国総研による再確認結果				
車両由来と類似した特徴である				

## 4)一次判定

XIIC				
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)		
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>		

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	244	事務所名	常陸	路線番号	R6

## ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ-ル □ ○ ガ - ド パ イ □ ○ ガ - ド ケ-フ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚
防護柵	■●路側側	
の位置	口〇中央帯側	
付着場所	■●ボルト部	3
	□○始点側端	部ボルト部
	□○終点側端	部ボルト部
	口〇継ぎ目部	3
	□○始点側端	部継ぎ目部
	□○終点側端	部継ぎ目部
付着向き	■●順方向	
	□○逆方向	
継ぎ目部	□○順目	■●不明
	口〇逆目	
接触痕跡	□○あり	□●不明
	■○なし	

#### ②写真

<b>9 3 2 C</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告		
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
	加工されているように見える		
	(イ)破断面が人工的に作られたよう		
	に滑らか		
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
	一致しない		
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
	に付着している		
_	/1\ <b>7</b>		
	(オ)その他、現場から特にコメント		
	がある		

●国総研による再確認結果	
車両由来と類似した特徴である	

#### ④一次判定

<i>y</i>	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

- 1						
	金属片番号	245	事務所名	常陸	路線番号	R6

## ①付着状況

防護柵	■○ガードレール	,
の種類	□○ガードパイ	゚゚゚゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚
	ロロガードケーフ	゛ル
	□●不明	
防護柵	■●路側側	
の位置	口〇中央帯側	
付着場所	■○ボルト部	
	□○始点側端	部ボルト部
	□○終点側端	部ボルト部
	□○継ぎ目部	3
	□○始点側端	部継ぎ目部
	□○終点側端	部継ぎ目部
	□●不明	
付着向き	□○順方向	□●不明
	■○逆方向	
継ぎ目部	■○順目	□●不明
	口〇逆目	
接触痕跡	■○あり	□●不明
	□○なし	
L.		

## ②写真

材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
	□○台形	
厚さ(mm)	1.03	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(+) その他 理想から性につりいし
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 X11)C	
車両に由来するものと考えられるか	●YES    ○不確定(材料分析必要)
	理由:形状が車両由来と類似、塗装あり、鉄、厚さ

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	246	事務所名	常陸	路線番号	R6

## ①付着状況

防護柵	■○ガードレール	,
の種類	□○ガードパイ	゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゚
	□○ガードケーフ	゛ル
	□●不明	
防護柵	■●路側側	
の位置	口〇中央帯側	
付着場所	■○ボルト部	3
	□○始点側端	部ボルト部
	□○終点側端	部ボルト部
	口〇継ぎ目部	3
	□○始点側端	部継ぎ目部
	□○終点側端	部継ぎ目部
	□●不明	
付着向き	■○順方向	□●不明
	□○逆方向	
継ぎ目部	■○順目	□●不明
	□○逆目	
接触痕跡	■○あり	□●不明
	□○なし	
	•	

## ②写真

材質	■●鉄 □○不明	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
	(オ)その他、現場から特にコメント
Ш	(が)てい他、現場から特にコメント がある
	n, <b>a</b> 0 @

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

#### ④一次判定

9 9/11 <b>2</b>	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	247	事務所名	常陸	路線番号	R6

## ①付着状況

防護柵	■○ガードレール	)
の種類	□○ガードパイ	フ <sup>°</sup>
	□○ガードケーフ	゛ル
	□●不明	
防護柵	■●路側側	
の位置	□○中央帯側	
付着場所	■○ボルト部	
	□○始点側端	部ボルト部
	□○終点側端	部ボルト部
	□○継ぎ目部	
	□○始点側端	部継ぎ目部
	□○終点側端	部継ぎ目部
	□●不明	
付着向き	■○順方向	□●不明
	□○逆方向	
継ぎ目部	■○順目	□●不明
	□○逆目	
接触痕跡	■○あり	□●不明
	□○なし	

## ②写真

<u> </u>		
材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.16	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
_	/1\ <b>7</b>
	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

#### ④一次判定

<i>y</i>	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

ſ	金属片番号	248	事務所名	常陸	路線番号	R6
- 1				· · · · · —		

## ①付着状況

防護柵	■○ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□●不明
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	О
付着場所	□●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■○順方向 □●不明
	□○逆方向
継ぎ目部	■○順目  □●不明
	□○逆目
接触痕跡	■○あり □●不明
	□○なし

## ②写真

材質	■●鉄	□○プラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.03	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
_	/1\ <b>7</b>
	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号 249 事務所名	常陸	路線番号	R6
----------------	----	------	----

## ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ - ル □ ○ ガ - ド パ イ プ □ ○ ガ - ド ケ- ブ ル
	ПО
防護柵	■●路側側
の位置	口〇中央帯側
付着場所	■●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	口〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○不明
	□○なし

## ②写真

材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
	□○台形	
厚さ(mm)	0.84	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
П	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある
	とるの

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 7(1)/2		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

全届上釆只	250	<b></b>	常陸	路線番号	R6
<b>亚</b> 偶万	200	チカカカ	市性	<b>始称</b>	110

## ①付着状況

U I J II I I I I I	
防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ-ル □ ○ ガ - ド パ イプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
付着場所	■●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	□○継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○
	口〇逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○不明
	□Oなし

## ②写真

材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
	□○台形	
厚さ(mm)	1.03	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
_	(1) 7 O M. THE L. 2 HILL 12 1
	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 7(1)/2		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

│金属片番号
--------

## ①付着状況

## ②写真

<b>0 5 7 C</b>		
材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
	□○台形	
厚さ(mm)	1.02	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告					
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に					
	加工されているように見える					
	(イ)破断面が人工的に作られたよう					
	に滑らか					
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と					
	一致しない					
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目					
	に付着している					
	(オ)その他、現場から特にコメント					
Ш	(が)てい他、現場から特にコメント がある					
	n, <b>a</b> 0 @					

●国総研による再確認結果			
車両由来と類似した特徴である			
	_		

## 4)一次判定

9 7(1)/2		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

外観から判断して目動車に由来するとは考えにくい付着金属片							
金属片番号	252	事務所名	常陸	Ē		路線番号	R6
①付着状況			(	2写真			
防護柵	■●ガードレール	•		材質	■●鉄		<b>□○プラスチック</b>
の種類	□○ガードパイ	フ゜			口〇不明	<u></u>	
	□○ガードケーブル			形状	■●三角	<b>角</b> □	]〇長方形
					口〇台班	杉	
防護柵	■●路側側	路側側		厚さ(mm)	0.93		
の位置	の位置  □○中央帯側						
ПО			Carlo V	No.		AR I LANGE	
付着場所	■●ボルト部 □○始点側端 □○終点側端 □○継ぎ目部 □○始点側端 □○終点側端	部ボルト部部ボルト部部ボルト部部継ぎ目部				3890	T'Y

## ③金属片の特徴

付着向き

継ぎ目部

接触痕跡

	■整備局からの報告					
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に					
	加工されているように見える					
	(イ)破断面が人工的に作られたよう					
	に滑らか					
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と					
	一致しない					
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目					
	に付着している					
_	/1\ <b>7</b>					
	(オ)その他、現場から特にコメント					
	がある					

■●順方向

□○逆方向

■●順目

□○逆目□○あり

■○なし

□○不明

□●不明

●国総研による再確認結果			
車両由来と類似した特徴である			

■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

<b>│ 金属片番号 │ 253 │ 事務所名 │</b>	常陸	路線番号	R6
-------------------------------	----	------	----

## ①付着状況

<u> </u>	
防護柵	■○ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□●不明
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	■○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	口〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	□●不明
付着向き	□○順方向 □●不明
	■○逆方向
継ぎ目部	■○順目 □●不明
	□○逆目
接触痕跡	■○あり □●不明
	□○なし

## ②写真

材質	□○鉄	■ ● プ ラスチック
	□○不明	
形状	■○三角	□○長方形
	□●複雑	
厚さ(mm)	3.89	



●国総研による再確認結果

■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
_	
	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

車両付帯品と思われる

#### ④一次判定

y NIX	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:車両付帯品(プラスチック)と思われる

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO	
材料分析結果			

		1		l	
金属片番号	254	事務所名	常陸	路線番号	R6

## ①付着状況

防護柵	■○ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□●不明
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	口〇ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	□●不明
付着向き	■○順方向 □●不明
	□○逆方向
継ぎ目部	■○順目 □●不明
	口〇逆目
接触痕跡	■○あり □●不明
	□○なし

## ②写真

材質	■●鉄	□○プラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
	口〇形	
厚さ(mm)	0.95	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
_	(1) 7 O M. THE L. 2 HILL 12 1
	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

車両由来と類似した特徴である	

●国総研による再確認結果

#### ④一次判定

<i>y</i>	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

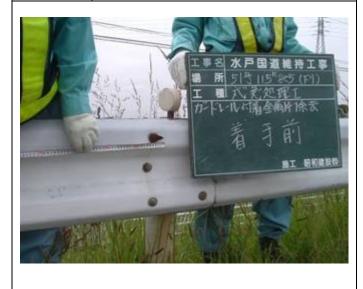
│金属片番号 │ 255 │ 事務所名	常陸	路線番号	R51
---------------------	----	------	-----

## ①付着状況

<u></u>			
防護柵	■●ガードレール		
の種類	□ ○ガ ード パ イブ		
	□ ○ガ ード <i>ケ</i> ーブノ	l	
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
付着場所	■●ボルト部		
	□○始点側端部	<b>『ボルト部</b>	
	□○終点側端部	『ボルト部	
	口〇継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□○終点側端部継ぎ目部		
付着向き	■●順方向	□○不明	
	□○逆方向		
継ぎ目部	■●順目	ПО	
	□○逆目		
接触痕跡	□○あり	□●不明	
	■○なし		

## ②写真

<b>0 5 7 C</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
	口〇台形	
厚さ(mm)	0.5/国総研測定	: 0.953 (全サビ)



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
 (オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果		
車両由来と類似した特徴である		

## 4)一次判定

9 9/11 <b>2</b>	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

			= 1		
金属片番号	256	事務所名	常陸	路線番号	R51
<b>业周川田</b> つ	200	ナルカルハー	TO KIE		1001

## ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ - ル □ ○ ガ - ド パ イ プ □ ○ ガ - ド ケ - ブ ル □ ○
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	■●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○ □○逆方向
継ぎ目部	■○順目 □●不明 □○逆目
接触痕跡	■○あり □●不明 □○なし

## ②写真

	材質	■●鉄	□○プラスチック
		□○不明	
	形状	□○三角	■○長方形
		□●半円立体	
厚	[さ(mm)	0.5/国総研測定	: 0.747 (全サビ)



## ■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である
人工的に加工したように見える

#### ④一次判定

〇不確定(材料分析必要)
属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号 268	事務所名	千葉	路線番号	R16
-----------	------	----	------	-----

## ①付着状況

<u></u> _	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	■●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	口〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	口〇逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし
<u> </u>	

## ②写真

材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.9	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
	(4) えの他 田根から計についい
Ш	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

## ●国総研による再確認結果 車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 7(1)/2		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	270	事務所名	<b>千</b> 莲	路線番号	R127
业海八田つ	210	T 10111 'L	1 <del>*</del>	咋冰笛 ケ	10141

## ①付着状況

□○ガードケーブル □○		
□○ 防護柵 の位置 □○中央帯側 □○ 付着場所 ■●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○終点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○終点側端部とぎ目部 □○逆方向 継ぎ目部 □○逆方向	の種類	
防護柵 の位置 □○中央帯側 □○中央帯側 □○ 付着場所 ■●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○終点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○対方向 継ぎ目部 □○逆方向 継ぎ目部 □○逆方向		□○ガードケーブル
の位置 □○中央帯側 □○ 付着場所 ■●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目の □○逆方向 継ぎ目部 □○ 世野田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田		
□○   付着場所   ■●ボルト部   □○始点側端部ボルト部   □○終点側端部ボルト部   □○継ぎ目部   □○始点側端部継ぎ目部   □○終点側端部継ぎ目部   □○逆方向     極ぎ目部   □○逆方向     極ぎ目部   □○逆目   □○逆目	防護柵	■●路側側
付着場所 □●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○逆方向 継ぎ目部 □○逆方向	の位置	□○中央帯側
□○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○ 付着向き ■●順方向 □○逆方向 継ぎ目部 □○逆目		О
□○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○ 付着向き ■●順方向 □○逆方向 継ぎ目部 □○逆方向	付着場所	■●ボルト部
□○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○ 付着向き ■●順方向 □○逆方向 継ぎ目部 □○逆目 □○逆目		□○始点側端部ボルト部
□○始点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部 □○ 付着向き ■●順方向 □○逆方向 継ぎ目部 ■●順目 □○逆目		□○終点側端部ボルト部
□○終点側端部継ぎ目部 □○ 付着向き ■●順方向 □○ □○逆方向 継ぎ目部 ■●順目 □○ □○逆目		口〇継ぎ目部
□○ 付着向き ■●順方向 □○ □○逆方向  継ぎ目部 ■●順目 □○ □○逆目		□○始点側端部継ぎ目部
付着向き ■●順方向 □○ □○逆方向 継ぎ目部 ■●順目 □○ □○逆目		□○終点側端部継ぎ目部
□○逆方向 継ぎ目部 ■●順目 □○ □○逆目		ПО
継ぎ目部 ■●順目 □○ □○逆目	付着向き	■●順方向 □○
口〇逆目		□○逆方向
	継ぎ目部	■●順目  □○
接触痕跡 ■●あり □○		□○逆目
==	接触痕跡	■●あり □○
□○なし		□○なし

## ②写真

<b>0</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	口〇長方形
厚さ(mm)	0.9	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告		
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
	加工されているように見える		
	] (イ)破断面が人工的に作られたよう		
	に滑らか		
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
	一致しない		
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
	に付着している		
_	(1) 7 O M. THE L. 2 HILL 12 1		
	(オ)その他、現場から特にコメント		
	がある		

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

●YES	〇不確定(材料分析必要)			
理由:接触痕及	及び金属片の形状・厚さから車両と推測			
	0 120			

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号   272   事務所名   高崎   路線番号   R1	R17
-------------------------------------	-----

## ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ - ル □ ○ ガ - ド パ イ プ □ ○ ガ - ド ケ - ブ ル		
	О		
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○		
付着場所	■●ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 □○継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部		
付着向き	■●順方向 □○ □○逆方向		
継ぎ目部	■●順目 □○□○逆目		
接触痕跡	<b>■●</b> あり □○ □○なし		

## ②写真

材質	■●鉄□○	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.9	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告		
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
	加工されているように見える		
	(イ)破断面が人工的に作られたよう		
	に滑らか		
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
	一致しない		
	□ (1)中央分離帯のある道路で継ぎ		
に付着している			
	(+) その他 理想から性につりいし		
	(オ)その他、現場から特にコメント		
	がある		

●国総研による再確認結果	
車両由来と類似した特徴である	

## 4)一次判定

XIII			
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)	
	理由:接触痕及	なび金属片の形状・厚さから車両と推測	

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金屋片番号	278	主教託夕	甲府河川	敗綽釆早	Doo
亚偶几倍与	410	一手伤几个	一个内心儿	<b>始称</b>	R20

## ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■ ● ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	□○路側側
の位置	■●中央帯側
付着場所	□○ボルト部
	■○始点側端部ボルト部
	□●終点側端部ボルト部
	□○継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■○順方向 □●不明
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

## ②写真

<b>U</b> • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
材質	■○鉄	□ ○プ ラスチック
	□●不明	
形状	■○三角	□○長方形
	□●不明	
厚さ(mm)	1.163	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
 (4) 7 高地 - 7 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果
形状が特異

## 4)一次判定

9 7117	
車両に由来するものと考えられるか	OYES ●不確定(材料分析必要)
	理由:形状が特異

車両に由来するものと考えられる	か YES	ONO	
材料分析結果	車両用	(外板)、引張破壊	

- 1						
	金属片番号	279	事務所名	横浜	路線番号	R16

## ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	□●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	□●あり □○
	■○なし

## ②写真

材質	■●鉄	□ ○ プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.5	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
	(オ)その他、現場から特にコメント
Ш	(が)てい他、現場から特にコメント がある
	n, <b>a</b> 0 @

## 4)一次判定

9 7(1)/2		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>

_	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
	材料分析結果		

金属片番号 28	事務所名	横浜	路線番号	R246
		** *** *		

## ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□ ○ガ ードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし
·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

## ②写真

材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.5	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告		
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
	加工されているように見える		
	(イ)破断面が人工的に作られたよう		
	に滑らか		
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
	一致しない		
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
	に付着している		
	(4) えの他 田根から計についい		
Ш	(オ)その他、現場から特にコメント		
	がある		

車両由来と類似した特徴である

●国総研による再確認結果

## 4)一次判定

9 7(1)C		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	痕及び金属片の形状 · 厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

全屋片悉号	281	<b>車</b>	横浜	敗綽釆早	D94C
並偶月留写	201	一事伤所有	1供/共	<b>始称</b>	R246

## ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ - ル □ ○ ガ - ド パ イ プ □ ○ ガ - ド ケ - ブ ル □ ○
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	□○ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 ■●継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○終点側端部継ぎ目部
付着向き	□○順方向 □○ ■●逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○□○逆目
接触痕跡	<b>■●</b> あり □○ □○なし

## ②写真

材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.5	



## ■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告				
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に				
	加工されているように見える				
	(イ)破断面が人工的に作られたよう				
	に滑らか				
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と				
	一致しない				
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目				
	に付着している				
	(+) この仏 田坦から性につりいし				
Ш	(オ)その他、現場から特にコメント がある				
	かめる				

車両由来と類似し	た特徴である	5	

●国総研による再確認結果

## 4)一次判定

XIIIE					
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)			
	理由:接触:	痕及び金属片の形状 · 厚さから車両と推測			

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

ı						
	金属片番号	282	事務所名	横浜	路線番号	R246
- 1	35 MAI / I EE - J	202	T 101111 H	スルへ		102 10

## ①付着状況

防護柵	■○ガードレール			
の種類	ロロガードパイプ			
	□○ガードケーブル			
	□●不明			
防護柵	■○路側側			
の位置	□○中央帯側			
	□●不明			
付着場所	口〇ボルト部			
	□○始点側端部ボルト部			
	□○終点側端部ボルト部			
	■○継ぎ目部			
	□○始点側端部継ぎ目部			
	□○終点側端部継ぎ目部			
	□●不明			
付着向き	■○順方向	□●不明		
	□○逆方向			
継ぎ目部	■○順目	□●不明		
	□○逆目			
接触痕跡	■○あり	□●不明		
	□○なし			

## ②写真

材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	□○三角	■●長方形
厚さ(mm)	2.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告				
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に				
	加工されているように見える				
	(イ)破断面が人工的に作られたよう				
	に滑らか				
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と				
	一致しない				
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目				
	に付着している				
	(オ)その他、現場から特にコメント				
Ш	(が)てい他、現場から特にコメント がある				
	n, <b>a</b> 0 @				

●国総研による再確認結果
人工的に加工したように見える

## 4)一次判定

9 71176		
車両に由来するものと考えられるか	OYES	●不確定 (材料分析必要)
	理由:	人工的に加工したように見える

車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
材料分析結果	車両用(ドア下部)、引張破壊

金属片番号 285 事務所名	金沢	路線番号	R159
----------------	----	------	------

## ①付着状況

防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ - ル □ ○ ガ - ド パ イ プ □ ○ ガ - ド ケ - ブ ル □ ○
防護柵 の位置	■●路側側 □○中央帯側 □○
付着場所	□○ボルト部 □○始点側端部ボルト部 □○終点側端部ボルト部 ■●継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部 □○始点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○ □○逆方向
継ぎ目部	■●順目 □○ □○逆目
接触痕跡	■●あり  □○ □○なし

## ②写真

<b>0</b>		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.027	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告		
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
	加工されているように見える		
	(イ)破断面が人工的に作られたよう		
	に滑らか		
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
	一致しない		
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
	に付着している		
_	/I) = 0.01 = 10.10 t = 1.5 t		
	(オ)その他、現場から特にコメント		
	がある		

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 7(1)C		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	痕及び金属片の形状 · 厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	292	事務所名	金沢	路線番号	R160

## ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□Ο
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	■●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	□○順方向 □○
	■●逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■○あり □●不明
	□○なし

## ②写真

材質	■●鉄	□○プラスチック
	□○不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.967	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告		
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に		
	加工されているように見える		
	(イ)破断面が人工的に作られたよう		
	に滑らか		
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と		
	一致しない		
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目		
	に付着している		
_	/I) = 0.01 = 10.10 t = 1.5 t		
	(オ)その他、現場から特にコメント		
	がある		

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 9/11 <b>2</b>	
車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号 294 事務所名	新潟	路線番号	R49 (側道)
----------------	----	------	----------

## ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
付着場所	■●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	□○継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	□Ο
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	□○逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし
,	

## ②写真

<b>U</b>		
材質	■○鉄	□ ○プ ラスチック
	□●不明	
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.039	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
	(+)その他 理想から特につくいし
╽╙	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

_	9 71170		
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)	
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測	則

_	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ONO
	材料分析結果	車両用(外板), 引張破壊

金属片番号	302	事務所名	名古屋	路線番号	R23
	002	T-101111 H			1020

## ①付着状況

<u></u> _	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	■●ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	口〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	■●順目  □○
	口〇逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし
<u> </u>	

## ②写真

材質	■●鉄□○	□ ○ プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.89	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
_	(+) この仏 理想から性につりいし
Ш	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

## ●国総研による再確認結果 車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 7(1)/2		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号 317 事務所名	多治見	路線番号	R19
----------------	-----	------	-----

## ①付着状況

防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
	ПО		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
	ПО		
付着場所	口〇ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	■○継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	□●終点側端部継ぎ目部		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部	□○順目  □○		
	■●逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		

## ②写真

材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.145	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
	(+)その他 理想から特につくいし
╽╙	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 7(1)/2		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	<b>良及び金属片の形状・厚さから車両と推測</b>

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ON0
材料分析結果		

人民止亚口		古沙ゴク	_ +	마선사스 프로 ㅁ	
金属片番号	322	事務所名	三里	路線番号	R23

## ①付着状況

U I J II I I I I I			
防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
	ПО		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
	□Ο		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	口〇継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	■●終点側端部継ぎ目部		
	ПО		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部	■○順目  □○		
	□●逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		
-			

## ②写真

材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

## ●国総研による再確認結果 車両由来と類似した特徴である

車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

_	9 9(1)	
	車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
		理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測
		全田・  按照派及の並属月の形状   序でから手両と

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	325	事務所名	三重	路線番号	R23

## ①付着状況

防護柵	□●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	■○不明
防護柵	□●路側側
の位置	□○中央帯側
	■○不明
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	□●継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	□○終点側端部継ぎ目部
	■○不明
付着向き	□○順方向  ■○不明
	□●逆方向
継ぎ目部	□●順目  ■○不明
	□○逆目
接触痕跡	□○あり ■●不明
	□○なし

## ②写真

材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	0.9	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
 //> - N - DID / S d
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:金属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	326	事務所名	= 重	路線番号	R23
业海八田つ	020	ナカカカー	<del>- =</del>	四水田ケ	R23

## ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□Ο
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	□○不明
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	口〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	■●終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	
	■●逆目
接触痕跡	□○あり ■●不明
	□○なし

## ②写真

<b>U</b> • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.5/国総研測定	: 1.0



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

■整備局からの報告
(ア)金属片の差し込み側が人工的に
加工されているように見える
(イ)破断面が人工的に作られたよう
に滑らか
(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
一致しない
(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
に付着している
(+) その他 理想から性につりいし
(オ)その他、現場から特にコメント
がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

#### ④一次判定

〇不確定(材料分析必要)
属片の形状・厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	327	事務所名	三重	路線番号	R23

## ①付着状況

防護柵	■●ガードレール		
の種類	□○ガードパイプ		
	□○ガードケーブル		
	□Ο		
防護柵	■●路側側		
の位置	□○中央帯側		
	ПО		
付着場所	□○ボルト部		
	□○始点側端部ボルト部		
	□○終点側端部ボルト部		
	口〇継ぎ目部		
	□○始点側端部継ぎ目部		
	■●終点側端部継ぎ目部		
付着向き	■●順方向 □○		
	□○逆方向		
継ぎ目部			
	■●逆目		
接触痕跡	■●あり □○		
	□○なし		
L.			

## ②写真

材質	■●鉄	□○プラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.1	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に
	加工されているように見える
	(イ)破断面が人工的に作られたよう
	に滑らか
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と
	一致しない
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目
	に付着している
	(+)その他 理想から特につくいし
╽╙	(オ)その他、現場から特にコメント
	がある

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 7(1)C		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	痕及び金属片の形状 · 厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		

金属片番号	328	事務所名	三重	路線番号	R23
-------	-----	------	----	------	-----

## ①付着状況

<u></u>	
防護柵 の種類	■ ● ガ - ド レ-ル □ ○ ガ - ド パ イプ
	□○ガードケーブル
	О
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
	ПО
付着場所	口〇ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	口〇継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	■●終点側端部継ぎ目部
	ПО
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	□○順目  □○
	■●逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

## ②写真

U		
材質	■●鉄	□ ○プ ラスチック
形状	■○三角	□○長方形
	□●台形	
厚さ(mm)	1.1	



## ■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告	
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に	
	加工されているように見える	
	(イ)破断面が人工的に作られたよう	
	に滑らか	
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と	
	一致しない	
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目	
	に付着している	
	(オ)その他、現場から特にコメント	
Ш	(が)てい他、現場から特にコメント がある	
	n, <b>a</b> 0 @	

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## ④一次判定

車両に由来するものと考えられるか	●YES ○不確定(材料分析必要)
	理由:接触痕及び金属片の形状・厚さから車両と推測
	(形状については三角形が腐食によりくずれ, 台形に
	なったものと推測)

_	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
	材料分析結果		

金属片番号	329	事務所名	= 重	路線番号	R23
31 1 M 1 M 1	920	T 101/11 H			1020

## ①付着状況

<u></u>	
防護柵	■●ガードレール
の種類	□○ガードパイプ
	□○ガードケーブル
	□Ο
防護柵	■●路側側
の位置	□○中央帯側
付着場所	□○ボルト部
	□○始点側端部ボルト部
	□○終点側端部ボルト部
	□○継ぎ目部
	□○始点側端部継ぎ目部
	■●終点側端部継ぎ目部
付着向き	■●順方向 □○
	□○逆方向
継ぎ目部	
	■●逆目
接触痕跡	■●あり □○
	□○なし

## ②写真

材質	■●鉄□○	□ ○プ ラスチック
形状	■●三角	□○長方形
厚さ(mm)	1.0	



■:整備局の判断 ●:国総研の判断

## ③金属片の特徴

	■整備局からの報告	
	(ア)金属片の差し込み側が人工的に	
	加工されているように見える	
	(イ)破断面が人工的に作られたよう	
	に滑らか	
	(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と	
	一致しない	
	(エ)中央分離帯のある道路で継ぎ目	
	に付着している	
	(オ)その他、現場から特にコメント	
Ш	(が)てい他、現場から特にコメント がある	
	n, <b>a</b> 0 @	

●国総研による再確認結果
車両由来と類似した特徴である

## 4)一次判定

9 7(1)C		
車両に由来するものと考えられるか	●YES	〇不確定(材料分析必要)
	理由:接触:	痕及び金属片の形状 · 厚さから車両と推測

車両に由来するものと考えられるか	OYES	ONO
材料分析結果		